

蛍光灯照明器具をLED化する際には 照明器具まるごと LEDにしましょう!

(一社)日本照明工業会でも、長期間使用した器具は照明器具まるごと交換を推奨しています。

そのランプ交換、大丈夫ですか?

直管LEDランプと既設の照明器具の組み合わせが不適切な場合、

重大事故の懸念があります。



発煙



原因

- LEDランプ種別選択の誤り・施工方法の間違い
- 器具(ソケット)の絶縁性能不足
- 継続使用した安定器の劣化 など

発火



感電

ランプ挿入時や交換時



原因

- 通電しながらのランプ交換

ランプ落下

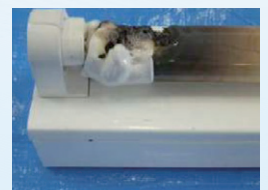


原因

- 継続使用したソケットの劣化
- ランプの質量超過
- 異常発生時のソケットの熱変形

ランプ又は照明器具内の部品が異常に高い温度となり、
発火・発煙することがあります。

LEDランプが正常点灯しているように見えても、
器具の絶縁性能が不足している場合、そのまま使い続けると
発火・発煙する恐れがあります。



ご注意
ください

蛍光灯器具では、通常10V未満の低い電圧しかかからないことを前提にして、ソケット部に求められる絶縁性能が定められています。直管LEDランプを使用する場合、想定以上の電圧がかかり、不安全となるリスクがあります。

現状の市場背景

蛍光灯照明器具の生産終了に伴い、近い将来蛍光灯ランプの入手が困難になることが考えられるなか、市場では、**多種多様な直管LEDランプが流通しています。**

そこで

2020年11月

用途、方式を限定して**光源単体の安全規格**が制定されました。

JLMA301:2020 「AC直結G13口金直管LED光源-安全規格」

ランプ交換
だけでは安心
できません！

しかし

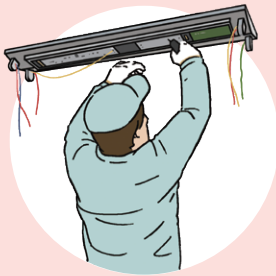
光源単体の安全規格であり、

改造工事による照明器具の安全を担保するものではありません。

照明器具まるごと交換をおすすめします。

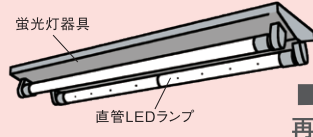
■ 改造工事の際のご注意点

注意 1 改造した照明器具はメーカーの製品保証が適用外になります。



※ 照明器具の内部配線切断や再結線などを行うリニューアル

注意 2 LED改造後に蛍光灯を取り付けると発煙・発火の可能性があります。



再度



改造してLED化

蛍光灯を装着

注意 3 蛍光灯用ソケットの絶縁性能不足により発煙・発火の可能性があります。



発煙



発火

注意 4 「ランプを交換すれば、照明器具はずっと使える」と考えるのは間違いです。

適正交換時期(10年)

クラックが入ったソケット



長期間使用した照明器具は、外観はきれいでも内部部品が劣化している場合があります。

ランプ落下の危険性